

## 高校・一般の部 優秀賞

梅田 美枝

人は育った時代と環境で 考え方 感じ方が変わります。そして、その生活に馴れると当たり前となりがちです。戦後 私が十代頃から テレビ 家庭電話などの文明機器が普及し始めました。就職し、電話のベルに、ドキッとしたのを覚えています。

大変な時代に 大勢の子供を育ててくれた親に感謝です。食べ物は 十人家族が分け合って食べました。衣食住の総てに工夫が有り当時の生活が もったいない精神の元になっています。貧しい時に育った兄弟は、仲良しです。結婚して別々の生活をしていても、お互いに思いやり良い関係です。

人は日々の生活の中での出来事を、見て 聞いて 感じて 気付く事を自身の糧とします。

戦後七十三年、平和な生活が出来るのは、苦しんだ先人たちが守ってくれているからです。戦争中の苦難の話を聞いて、次へ伝えましょう。体験を伝える人が少なくなった今、私たちは文明機器を使って、映像、録音、記録で 又は絵本などで「戦争はしない」を 伝えていきましょう。